

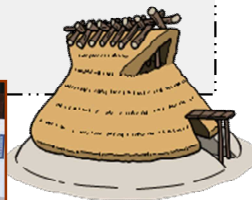


「実際に火を起こしたり、土器に触れたりすることが出来て良かったです。」

三島市立山田小学校の6年生90人が、実際の体験を通して歴史を学ぶことを目的に、土器の分類体験と火起こし体験を行いました。

土器の分類体験

歴史の授業が安土桃山時代まで進んでいたため、縄文時代から古墳時代の土器について復習として再確認しました。既習の内容でしたが、出土された本物の土器に触り、土器の厚さや色、表面の質感等、教科書や資料集の写真ではわからないことを感じ取ることができ大変有意義だったようです。縄文土器・弥生土器・須恵器の3つの土器片を分類する体験は、とても楽しかったようです。



「時代によってずいぶん違うことが分かりました。縄文土器や弥生土器は酸化して赤くなることを知りました。」

「分類するのがとても楽しかったです。手触りの違いにビックリしました。」



「火を起こすのが難しかったけど、コツを知ることができた。」

火起こし体験

火起こしの歴史を説明し、もみぎり法や弓ぎり法、舞ぎり法等ある程度知っていました。また、5年生の時に火起こしを体験したことがあったことと、時間的に余裕があったことで、班によっては何回も火を起こすことができました。9月といえども暑い日で、日陰になる体育館の軒下や体育館通路で行いました。汗をかきながらの火起こしで、大変さが身にしみて分かったようですが、火種を作りフーフタイムも頑張り、火が起きたときには嬉しそうでした。



「力が必要で大変でしたが、火がついたときにはとてもうれしかったです。」



先生方の感想

「6年生の社会科の学習を実体験できて良かったです。実際に火を起こしたり、土器に触れたりすることが出来て良かったです。センターの職員さんの説明は、具体的でとても分かりやすく勉強になりました。子どもたちもとても興味を示していました。」

